

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 7 月 18 日 (2013.7.18)

【公表番号】特表 2012-528892 (P2012-528892A)

【公表日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報 2012-048

【出願番号】特願 2012-514187 (P2012-514187)

【国際特許分類】

C 0 7 F 9/6574 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/661 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 9/6574 C S P Z

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/661

A 6 1 P 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 6 月 3 日 (2013.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

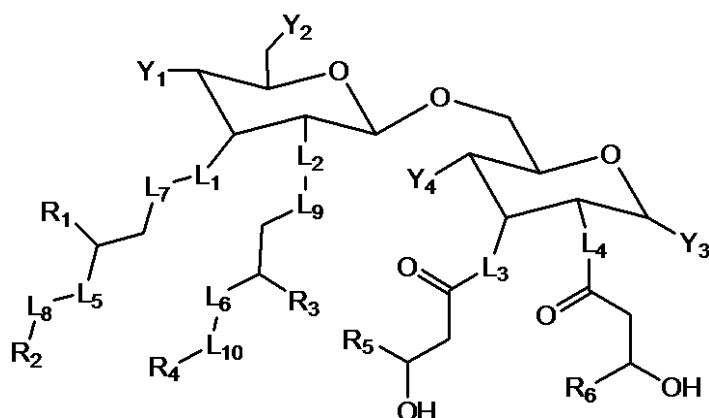
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記の構造 (I) :

【化 1】



(I)

[式中、

L₁、L₂、L₃、L₄、L₅ および L₆ は、同一であるかまたは異なり、独立して、-O-、-NH- または -(CH₂)- であり；

L₇、L₈、L₉ および L₁₀ は、同一であるかまたは異なり、独立して、存在しないか、または、-C(=O)- であり；

Y_1 は酸の官能基であり；

Y_2 および Y_3 は、同一であるかまたは異なり、独立して、 $-OH$ 、 $-SH$ または酸の官能基であり；

Y_4 は、 $-OH$ または $-SH$ であり；

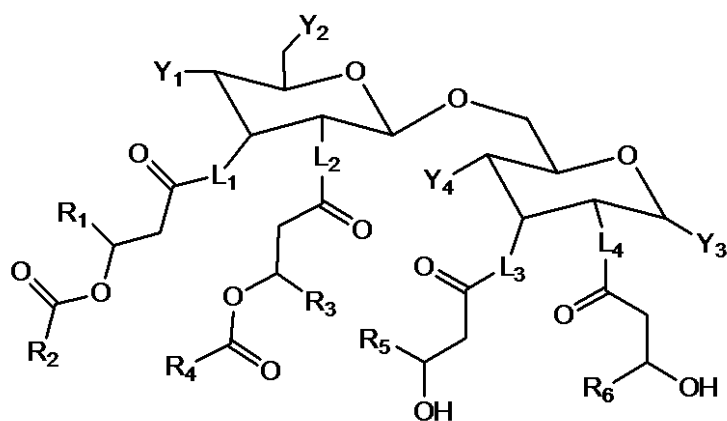
R_1 、 R_3 、 R_5 および R_6 は、同一であるかまたは異なり、独立して、 C_{8-13} アルキルであり；そして、

R_2 および R_4 は、同一であるかまたは異なり、独立して、 C_{6-11} アルキルである] を有する GLA 化合物、または、その医薬的に許容し得る塩。

【請求項 2】

L_5 および L_6 が両方とも $-O-$ であり、 L_7 、 L_8 、 L_9 および L_{10} が各々 $-C(=O)-$ であり、GLA 化合物が下記の式 (II)：

【化 2】



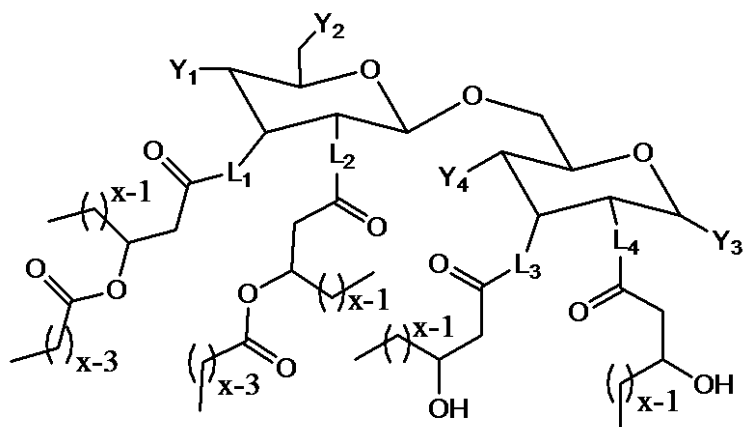
(II)

を有する、請求項 1 に記載の GLA 化合物。

【請求項 3】

R_1 、 R_3 、 R_5 および R_6 が各々 C_x アルキルであり、 x が一定であり、 $8-13$ の整数から選択され、 R_2 および R_4 が両方とも C_{x-2} アルキルであり、GLA 化合物が下記の式 (III)：

【化 3】



(III)

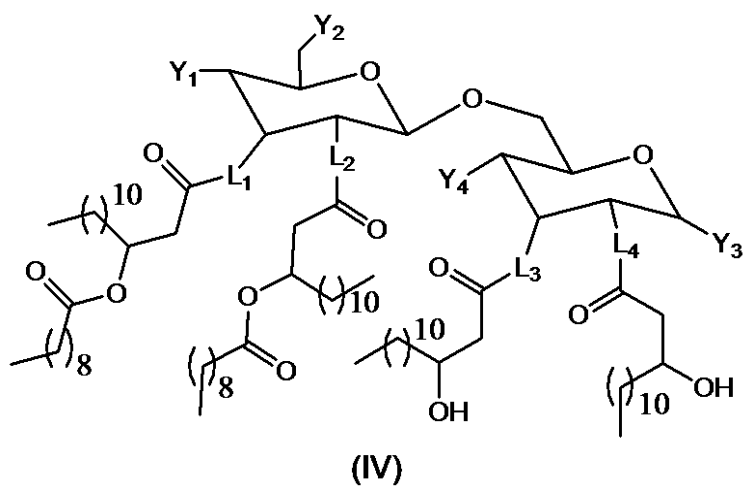
を有する、請求項 2 に記載の GLA 化合物。

【請求項 4】

x が $10-12$ の整数から選択される、請求項 3 に記載の GLA 化合物。

【請求項 5】

x が 11 であり、GLA 化合物が下記の構造 (IV) :
【化 4】

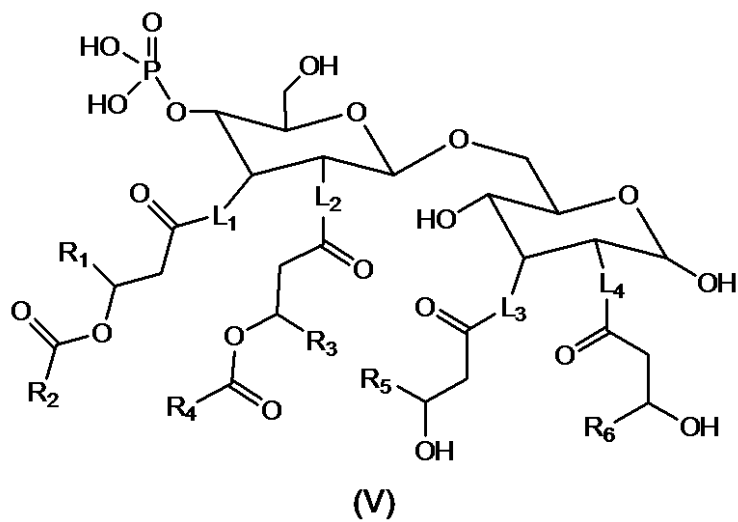


を有する、請求項 4 に記載の GLA 化合物。

【請求項 6】

Y_1 が $-OP(=O)(OH)_2$ であり、 Y_2 、 Y_3 および Y_4 が各々 $-OH$ であり、GLA 化合物が下記の式 (V) :

【化 5】

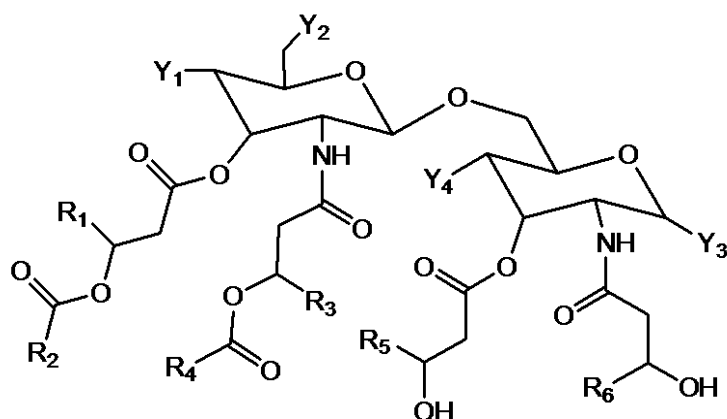


を有する、請求項 2 に記載の GLA 化合物。

【請求項 7】

L_1 および L_3 が両方とも $-O-$ であり、 L_2 および L_4 が両方とも $-NH-$ であり、GLA 化合物が下記の式 (VI) :

【化 6】



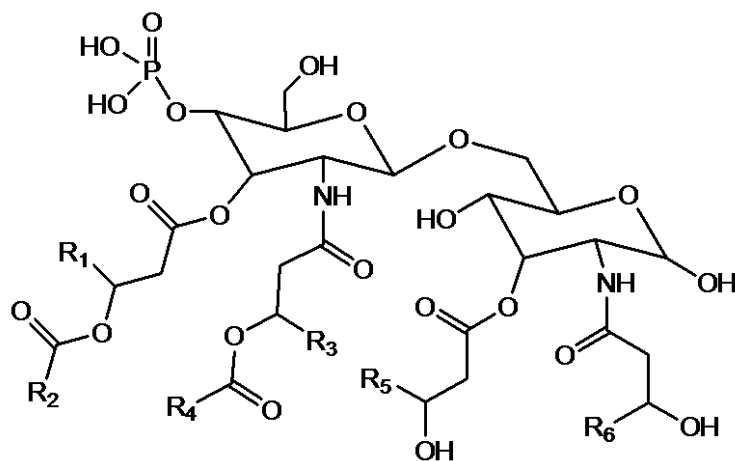
(VI)

を有する、請求項 2 に記載の G L A 化合物。

【請求項 8】

Y_1 が $-OP(O)(OH)_2$ であり、 Y_2 、 Y_3 および Y_4 が各々 $-OH$ であり、 L_1 および L_3 が両方とも $-O-$ であり、 L_2 および L_4 が両方とも $-NH-$ であり、G L A 化合物が下記の式 (VII) :

【化 7】



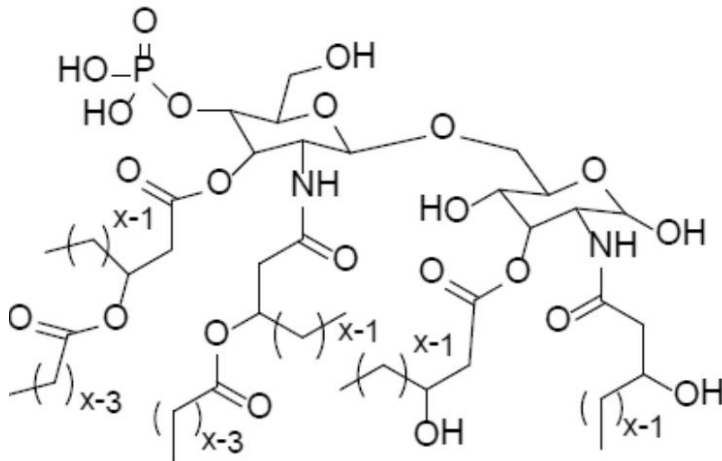
(VII)

を有する、請求項 2 に記載の G L A 化合物。

【請求項 9】

Y_1 が $-OP(O)(OH)_2$ であり、 Y_2 、 Y_3 および Y_4 が各々 $-OH$ であり、 L_1 および L_3 が両方とも $-O-$ であり、 L_2 および L_4 が両方とも $-NH-$ であり、 R_1 、 R_3 、 R_5 および R_6 が各々 C_x アルキルであり、 x が一定であり、8 - 13 の整数から選択され、 R_2 および R_4 が両方とも C_{x-2} アルキルであり、G L A 化合物が以下の式 (VIII) :

【化 8】



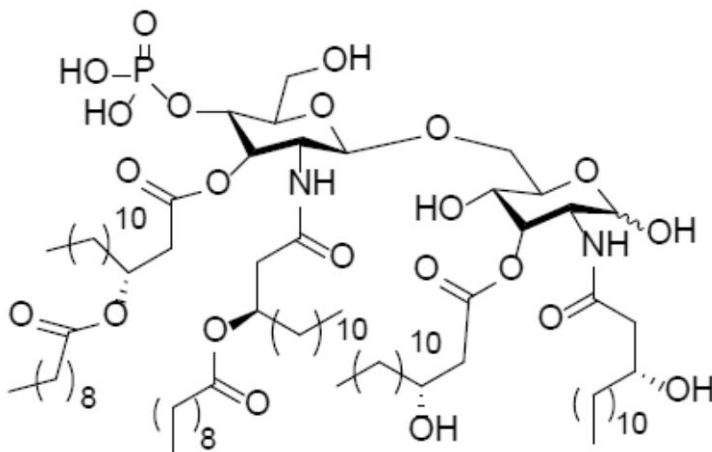
(VIII)

を有する、請求項 2 に記載の GLA 化合物。

【請求項 10】

x が 11 であり、GLA 化合物が以下の構造 (IX) :

【化 9】



(IX)

を有する、請求項 9 に記載の GLA 化合物。

【請求項 11】

抗原または抗原をコードする組換え発現ベクターと共に請求項 1 ないし請求項 10 のいずれかに記載の化合物を含むワクチン組成物。

【請求項 12】

組換え発現コンストラクトがウイルスベクターである、請求項 11 に記載のワクチン組成物。

【請求項 13】

ウイルスベクターが、アデノウイルスベクター、アデノ随伴ウイルスベクター、ヘルペスウイルスベクター、レンチウイルスベクター、ボックスウイルスベクターおよびレトロウイルスベクターからなる群から選択される、請求項 12 に記載のワクチン組成物。

【請求項 14】

対象において抗原特異的免疫反応を誘起または増強するためのワクチンの製造における、請求項 1 ないし請求項 10 のいずれかに記載の化合物の使用。

【請求項 15】

請求項 1 ないし請求項 10 のいずれかに記載の化合物および医薬的に許容し得る担体または補助剤を含む医薬組成物。

【請求項 16】

対象において非特異的免疫反応を刺激するための医薬の製造における、請求項 15 に記載の医薬組成物の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

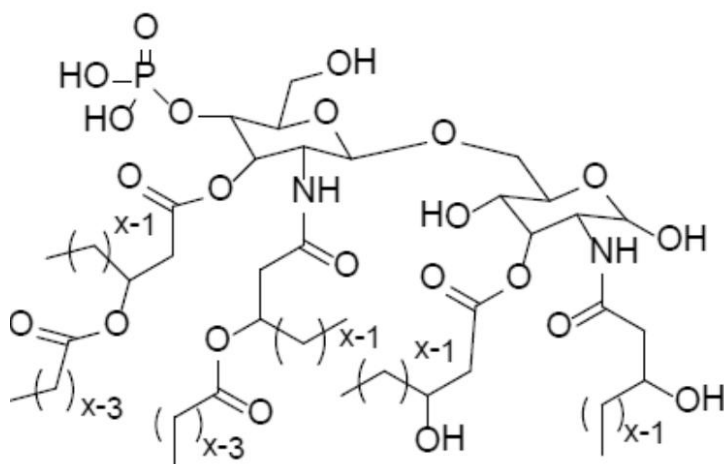
【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

また他の特定の実施態様では、本発明は、 Y_1 が $-OP(O)(OH)_2$ であり、 Y_2 、 Y_3 および Y_4 が各々 $-OH$ であり、 L_1 および L_3 が両方とも $-O-$ であり、 L_2 および L_4 が両方とも $-NH-$ であり、 R_1 、 R_3 、 R_5 および R_6 が各々 C_x アルキルであり、ここで、 x は一定であり、8 - 13 の整数から選択され、 R_2 および R_4 が両方とも C_{x-2} アルキルである式 (II) の GLA 化合物、および、下記の式 (VII) :
【化 9】



(VII)

を有する GLA 化合物を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

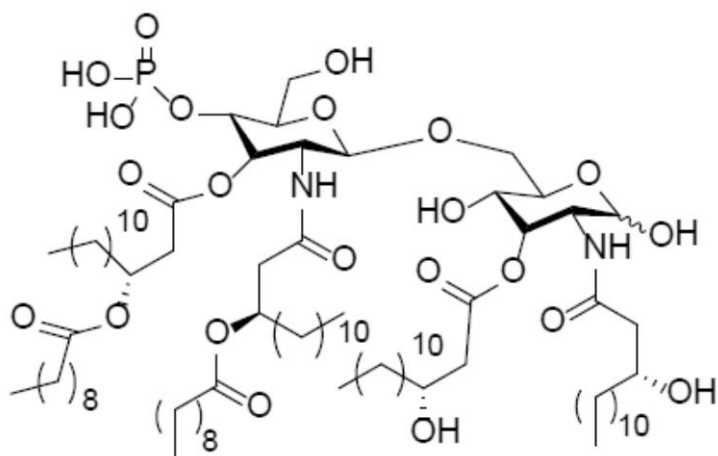
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

より特定の式 (VII) の実施態様では、 x は 11 であり、本発明は、下記の構造 (IX) :

【化 1 0】



(I X)

を有する G L A 化合物を提供する。